

- 問1 平安時代中期には、紫式部が執筆した『源氏物語』や、清少納言が記した『枕草子』など、優れた女流文学が数多く生まれました。このような文化が発展した理由や背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 遣唐使の停止をきっかけに日本独自の生活様式や感性が重視されるようになり、日本語の音を自由に表現できる「かな文字」が広まったため。 | 2. 武士が政治の実権を握り始めたことで、貴族階級の特権を批判し、新しい社会のあり方を提示する文学が求められたため。 | 3. 仏教の教えが民衆に広まったことで、現世の不浄を説く物語や、死後の世界を詳しく描く文学作品への関心が高まったため。 | 4. 宋との貿易を通じて新しい印刷技術が導入され、宮廷の女性たちが書いた物語が一般の庶民にも広く普及したため。 |
|---|--|---|---|
-
- 問2 平安時代初期に遣唐使として唐へ渡り、帰国後に高野山に金剛峯寺を建立して真言宗を広めた僧は誰ですか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 日蓮 | 2. 最澄 | 3. 空海 | 4. 行基 |
|-------|-------|-------|-------|
-
- 問3 桓武天皇が、短期間のうちに長岡京から平安京へと二度も遷都を行い、新たな国づくりを目指した理由や背景として述べた文のうち、不適切なものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 律令に基づいた統治を再建するため、新しい拠点から地方官の監視や行政の効率化を図ろうとしたため。 | 2. 長岡京の造営中に中心人物が暗殺されたり、洪水や疫病などの災いが発生したりしたことを、不吉なものと考えたため。 | 3. 奈良の古い都に残っていた有力な寺院や貴族の影響力を弱め、天皇による政治の主導権を取り戻すため。 | 4. 唐（中国）の長安をモデルにした大規模な都市を造営し、対外貿易を独占して国家の財政を潤すことが最大の目的であったため。 |
|--|---|--|---|
-
- 問4 平安時代末期の東北地方において、奥州藤原氏が平泉に中尊寺などの寺院を相次いで建立した背景や目的として、最も適切な説明はどれか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 北方の敵対勢力に対する軍事拠点とするため、要塞としての機能を備えた寺院を配置した。 | 2. 仏教の浄土信仰に基づき、前九年の役や後三年の役などの戦乱で亡くなった人々を供養し、平和な理想郷を築こうとした。 | 3. 源平の合戦で勝利した源頼朝を歓迎するため、鎌倉の武家文化を先取りして導入した。 | 4. 遣唐使が持ち帰った最新の大陸文化を普及させ、朝廷に対して自らの権力を誇示しようとした。 |
|--|--|--|--|
-
- 問5 1068年の後三条天皇の即位から、1156年の保元の乱が起こるまでの期間、特に白河上皇によって進められた政治について、その具体的な仕組みとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 武士として初めて太政大臣の地位に就き、日宋貿易による経済力を背景に政治を主導した。 | 2. 征夷大將軍の地位を得て鎌倉に幕府を開き、各地に守護や地頭を配置して支配を広げた。 | 3. 自分の娘を天皇の后とし、その子供を次の天皇に立てることで、外戚として実権を握った。 | 4. 天皇が位を譲って上皇となり、独自の役所を設けて摂政や関白の力を抑えながら政治を行った。 |
|--|---|--|--|
-
- 問6 平安時代後期に行われた「院政」の説明として、その背景や目的を含めた内容で最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 遣唐使を再開することで大陸の進んだ制度を取り入れ、天皇中心の律令国家を再建しようとした。 | 2. 藤原氏による摂関政治を抑え、皇室の力を強化するために、天皇が位を譲った後も上皇として実権を握った。 | 3. 有力な農民が開墾した土地を私有地として認め、それらを天皇が直接管理することで税収を増やそうとした。 | 4. 武士の台頭を防ぐために、天皇が自ら軍事権を握り、地方の武士団を直接統制しようとした。 |
|---|--|--|---|
-
- 問7 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として、東北地方で約100年にわたり強大な勢力を誇り、中尊寺金色堂などの華やかな文化を築いた一族として正しいものを選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|-------|
| 1. 平氏 | 2. 奥州藤原氏 | 3. 北条氏 | 4. 源氏 |
|-------|----------|--------|-------|
-
- 問8 平安時代、遣唐使の停止を経て日本の風土や生活に合わせた文化が発展しました。この時期に醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集を何といいますか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|--------|----------|
| 1. 新古今和歌集 | 2. 万葉集 | 3. 懐風藻 | 4. 古今和歌集 |
|-----------|--------|--------|----------|
-
- 問9 11世紀後半に東北地方で相次いで発生した前九年合戦・後三年合戦は、後の武士の社会にどのような影響を与えたか。その説明として最も適切なものはどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 1. 藤原氏が摂政・関白の地位を独占し、政治の実権を握るきっかけとなった | 2. 源氏が乱を鎮める過程で東国の武士と主従関係を結び、勢力を拡大する契機となった | 3. 平氏が西国での海賊追討を通じて、瀬戸内海の制海権を握る原因となった | 4. 朝廷が東北地方の支配をあきらめ、蝦夷（えみし）による独立国家を認めることになった |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
-
- 問10 平安京の所在地について、近畿地方の他の歴史的な拠点と比較した説明として正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 平安京は近江国に位置し、琵琶湖の東岸に沿って建設された。 | 2. 平安京は伊勢国に位置し、伊勢神宮のすぐ西側に建設された。 | 3. 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。 | 4. 平安京は摂津国に位置し、難波宮（大阪）よりも西に位置する。 |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
-
- 問11 平安時代中期に広く信仰された「浄土信仰」と、その代表的な建築物である平等院鳳凰堂の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 社会不安が広まる中、阿弥陀仏にすがって死後に極楽へ行くことを願う信仰が広まり、その願いを具現化する形で貴族によって建立された。 | 2. 平安京から地方に逃れた貴族たちが、地方豪族と協力して独自の文化を築く過程で、現世での利益を祈願して建立された。 | 3. 大陸との貿易を通じて伝わった禅宗の教えに基づき、武士が精神修養を行うための場として、簡素な造りで建立された。 | 4. 仏教の力で国家の安泰を願う「鎮護国家」の思想に基づき、天皇が全国に建立を命じた国分寺の代表的な施設として作られた。 |
|--|--|---|--|
-
- 問12 平安時代に発達した、日本独自の文化の特徴を説明した文として、適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 書院造と呼ばれる建築様式が広まり、貴族の邸宅では畳を敷き詰めた部屋で連歌が楽しまれた | 2. 漢字を簡略化したり変形させたりした仮名文字が工夫され、紀貫之らによる『古今和歌集』などの文学が盛んになった | 3. 紫式部によって著された『源氏物語』は、当時の武士の生活や戦いの様子を生き生きと描いた物語として普及した | 4. 雪舟によって大成された水墨画が、この時代の貴族たちの間で最も好まれる芸術作品となった |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣唐使の停止をきっかけに日本独自の生活様式や感性が重視されるようになり、日本語の音を自由に表現できる「かな文字」が広まったため。	894年の遣唐使の停止以降、中国の影響を消化しつつ日本の風土や好みに合わせた「国風文化」が開花しました。特に、漢字の音や訓を借りて作られた「かな文字（平仮名）」の発明により、漢字だけでは表現しきれなかった繊細な心情や宮廷の生活を日本語で綴ることが可能になり、紫式部などの女性作家による文学が隆盛しました。
問2	答え 3 空海	唐で密教を学んで帰国した空海は、和歌山県の高野山を拠点として真言宗を広めました。同時期に活躍した最澄は、比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広めた人物であり、寺の名前や山の名前とセットで区別する必要があります。
問3	答え 4 唐（中国）の長安をモデルにした大規模な都市を造営し、対外貿易を独占して国家の財政を潤すことが最大の目的であったため。	平安京は長安をモデルに設計されていますが、遷都の主目的はあくまで仏教勢力の政治介入を防ぐことや、長岡京での相次ぐ不幸（藤原種継の暗殺や身内の死、水害など）から逃れるための「怨霊対策」や「政治刷新」でした。貿易の独占が最大の動機であるとする説明は、この時代の遷都の背景としては不適切です。
問4	答え 2 仏教の浄土信仰に基づき、前九年の役や後三年の役などの戦乱で亡くなった人々を供養し、平和な理想郷を築こうとした。	奥州藤原氏の初代である清衡は、凄惨な戦乱（前九年の役・後三年の役）で家族や多くの人々を失いました。その経験から、敵味方の区別なく死者の霊を慰め、この世に仏教的な平和な社会（浄土）を具現化することを願い、中尊寺の建立を進めました。金色堂はこの精神的な象徴であり、当時の人々が抱いた「死後は極楽浄土へ行きたい」という強い願いが反映されています。
問5	答え 4 天皇が位を譲って上皇となり、独自の役所を設けて摂政や関白の力を抑えながら政治を行った。	白河上皇は、天皇が幼少期にのみ置かれるはずの摂政や、成人後の関白といった役職を回避するため、自らが上皇として政治を司る「院政」を確立しました。これにより、長く続いた藤原氏の摂関政治を終わらせる土台を築きました。
問6	答え 2 藤原氏による摂関政治を抑え、皇室の力を強化するために、天皇が位を譲った後も上皇として実権を握った。	当時の政治は、藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として摂政や関白を務める摂関政治が中心でした。白河天皇は藤原氏と血縁関係が薄かったことを背景に、天皇の位を譲った後も上皇として政治を行うことで、摂関家の影響力を排除し、皇室に権力を集中させる仕組みを構築しました。
問7	答え 2 奥州藤原氏	清衡・基衡・秀衡の3代にわたって、金や馬などの豊富な資源を背景に、独自の北方文化を形成しました。平安時代末期、中央での平氏と源氏の争いとは一線を画し、平泉を中心に平和な理想郷を追求した一族です。最終的には、源頼朝によって滅ぼされることとなりました。
問8	答え 4 古今和歌集	遣唐使が停止された後の平安時代には、日本の風土や日本人の感情に合った「国風文化」が発達しました。その流れの中で、紀貫之らが中心となって天皇の命令により編纂された、最初の勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）が古今和歌集です。万葉集は奈良時代、新古今和歌集は鎌倉時代初期、懷風藻は奈良時代に成立した日本最古の漢詩集です。
問9	答え 2 源氏が乱を鎮める過程で東国の武士と主従関係を結び、勢力を拡大する契機となった	前九年合戦・後三年合戦という東北地方での激しい抗争において、源頼義・義家が中心となって乱を鎮圧しました。この戦いを通じて、源氏は東国の武士たちと強い絆を築き、恩賞を自ら分け与えるなどの行動によって「武士の棟梁」としての地位を確立しました。これが後の鎌倉幕府設立へとつながる重要な背景となります。
問10	答え 3 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。	平安京が置かれた京都盆地（山城国）は、平城京が置かれた奈良盆地（大和国）の北側に位置しています。桓武天皇は、平城京での仏教勢力の政治介入を断ち切るために、まず長岡京へ遷都し、その後にさらに条件の良い平安京へと都を移しました。難波（大阪）は平安京の南西、伊勢（三重）は南東に位置するため、地理的な位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問11	答え 1 社会不安が広まる中、阿弥陀仏にすがって死後に極楽へ行くことを願う信仰が広まり、その願いを具現化する形で貴族によって建立された。	平安時代中期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来ると信じられ、人々の間で死後の不安が高まりました。これを受けて「浄土信仰」が貴族から庶民まで浸透し、平等院鳳凰堂のような極楽浄土をイメージした華麗な阿弥陀堂が建立されるようになりました。
問12	答え 2 漢字を簡略化したり変形させたりした仮名文字が工夫され、紀貫之らによる『古今和歌集』などの文学が盛んになった	国風文化の時代には、日本語の音を表現するために漢字を崩した「平仮名」や、漢字の一部を取った「片仮名」が作られました。これにより、紀貫之らによる『古今和歌集』や、紫式部による『源氏物語』などの優れた仮名文学が数多く生み出されました。また、こうした物語の場面は、後に『源氏物語絵巻』などの絵巻物としても描かれました。